

田原本町 都市計画マスタープラン 立地適正化計画



田 原 本 町
都市計画マスタープラン
立地適正化計画

奈良県 田原本町



田原本町は、歴史の国、大和の中でもっとも早くから開けたところで、弥生時代の
大遺跡「唐古・鍵遺跡」など多くの文化遺産が残っています。江戸時代には交代寄合
の陣屋町として栄え「大和の大坂」といわれるほど商業が盛んとなりました。また、
近年では、道の駅「レスティ唐古・鍵」や唐古・鍵遺跡史跡公園の整備が完了し、本
町の魅力を発展させてきました。

このような状況にさらに磨きをかけ、本町がこれからも魅力ある「まち」であり続
けるためには、町民と行政が力を合わせて「まちづくり」を行っていく必要があります。

その一歩として、田原本町第4次総合計画で定める「子どもから高齢者まで 誰も
がいきいきとした 暮らしを楽しむまち たわらもと」の実現を目指し、本町の都市
計画の基本的な方針であります「田原本町都市計画マスタープラン」の改定を行いま
した。

本町の都市構造は、町域の中央部に中心的機能が集積する中心市街地、その周辺に
住居系市街地が広がり、さらにその外側に集落と農地からなる田園地帯が広がるコン
パクトなまちが形成されています。

このような中、今後予定されている京奈和自動車道（仮称）田原本インターチェン
ジの整備は、今後の都市構造のあり方に大きく影響を与える潜在能力を持っています。
最近では、新たな企業立地が進む中、将来に向けた地域の活力創出の兆しも顕著にな
ってきており、これらを本町の発展に確実に繋げていくための対応が必要となってい
ます。

また、一方では、防災・減災への取り組み、公共交通を含めた移動性の向上、さら
に重要な基盤である農地の保全も課題となってきています。

こうしたことを踏まえ、10年後の田原本町を思い描きながら、新しい「田原本町
都市計画マスタープラン」の基本理念として、3つの視点から3つの目標を定めまし
た。

今後は、田原本町第4次総合計画に掲げるまちの将来像の実現に向け、本マスター
プランに基づき、全力で本町のまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、本マスタープランの改定にあたり貴重なご意見を賜りました町民の皆様を
はじめ、熱心な御審議、御議論を賜りました田原本町都市計画審議会委員の皆様にか
ら敬意と感謝を申し上げます。

2019年（平成31年）4月

田原本町長 森 章浩

目次

序章 都市計画マスタープランについて	1
1. 都市計画マスタープランの位置づけと役割	1
2. 都市計画マスタープラン改定の背景	3
3. 計画期間、計画の構成など	4
第1章 町の現況と都市づくりの課題	6
1. 町の現況	6
2. 住民意向	28
3. 上位・関連計画	34
4. 都市構造の分析	38
5. 町の特性の整理と都市づくりの課題	53
第2章 都市づくりの方針	61
1. 都市づくりの視点と基本目標	61
2. 都市づくりの基本方針	63
3. 将来都市フレーム	64
4. 広域とのアクセス強化	64
第3章 都市づくりの将来像	65
1. 将来都市構造	65
第4章 都市づくりの整備方針	67
1. 将来土地利用	67
2. 道路・交通	69
3. 公園・緑地	73
4. 上下水道・その他施設	75
5. 都市防災	77
6. 都市景観	79
7. 都市づくりの重点施策	81
第5章 包括的な都市づくり施策（立地適正化計画）	87
1. 基本的な考え方	87
2. 課題解決のための施策・誘導方針	87
3. 誘導区域の設定	90
4. 誘導施設の設定	93
5. 誘導施策の検討	95
6. 届出制度	99
7. 目標値及び効果の設定	101
第6章 実現化方策	102
1. 住民・事業者や団体・行政の協働による都市づくりの推進	102
2. 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の進行管理	104
用語集	105

